

♡豊かな人間性を育む
教育・文化・スポーツの振興

市民が、豊かな個性や能力を育み、その力を十分に発揮して充実した人生を送れるよう、生涯を通していつでもどこでも学習やスポーツに参加でき、多彩な文化に親しめる機会を広げます。特に、次代を担う子どもたちに対しては、情報化、国際化など社会の変化に対応した学校教育の推進はもとより、家庭、学校、地域社会が一体となって、その健やかな成長を支えます。

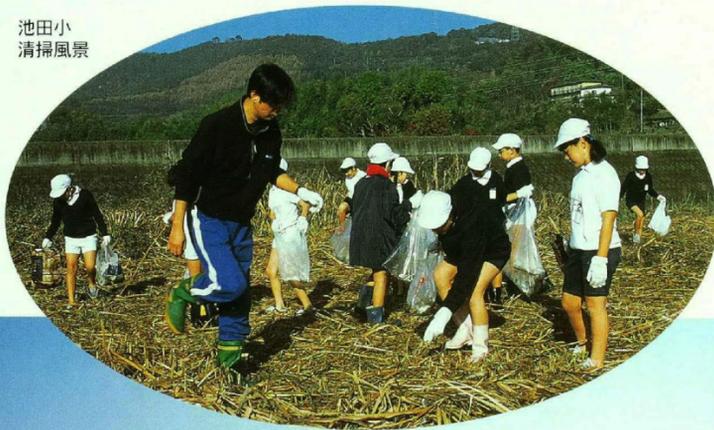


Happiness kumamoto

♡豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興

学校教育の充実

池田小
清掃風景



銭塘小学校

学校施設

児童・生徒たちの健やかな成長・発達を促し、豊かな人間性を育み、また、学習をより充実したものとす
 上で、学校施設の整備を図ることは極めて重要なことです。

また、昨今における社会情勢の急激な変化に伴い、それぞれの地域が目指す生活像及び環境像が多様化しています。そのため、地域住民参加型の「開かれた学校づくり」を構築するために、学校施設のあり方にも

変化が求められるようになり、「個性的で良質な空間を備えた学校施設」整備の必要性が、近年ますます高まっています。

市では、より豊かな教育環境づくりの構築のために、学習指導方法の多様化に対応できる施設の整備、教育の適正化を図るための過大規模校の分離新設、都市景観と合致した緑豊かな環境整備、体力向上を図るための体育施設の整備拡充、地域住民も利用できる文化性の高い施設づくりなど、計画的に学校施設の質的整備を図り、開かれた学校づくりを推進しています。

さらに、近年、地球にやさしい環境づくりの一環として、新設校の建設や既設校の全面改築の際には、校舎等の屋根の雨水を集めトイレの洗浄水として再利用する中水道設備の整備を進めるとともに、高度化・複雑化している現代社会において精神的な不安、ストレスを受けやすい子供に「生きる力」と「ゆとり」の教育を展開できる施設として、カウンセリング室を整備しています。また、12年度～13年度にかけて白川小学校に屋内運動場の上に水泳プールを配置した複合施設を建設し、敷地の有効活用を図っております。

今後も、心身共に健全な児童・生徒を育成するために、ゆとりと潤いのある教育環境づくりを推進していきます。

学校教育

学校教育においては、「ゆとり」の中で、子どもたちが自ら考え、自ら学ぶことができる「生きる力」を育成するために、家庭や地域と連携を図りながら、学校の特色を生かした教育を実践しています。

1 豊かな心を育てる

道徳教育や特別活動などにおける体験的な活動、ボランティア活動を充実し、思いやりの心など豊かな人間性を培います。

2 確かな学力をつける

ゆとりある教育活動の中で、基礎・基本を身につけ、一人一人の興味や関心に応じた学習活動に取り組みます。

3 自ら考え、自ら学ぶ力を育てる

「総合的な学習の時間」などを通して、子どもたちが自ら課題に気づき、考え、解決していく力を育成します。

4 健やかな身体を育てる

豊かな運動生活によって体力の向上を図るとともに、健康で安全な生活をする態度や能力を育てます。

5 特色ある学校づくりを進める

子どもたちの実態や地域の特性を生かし、創意工夫した教育活動を展開することによって、個性豊かな学校づくりを進めます。

6 学校・家庭・地域の連携を図る

学校支援ボランティアや地域の教材を活用した教育活動を進め、学校と地域が一体となって子どもたちの健全な育成を図ります。

Happiness kumamoto

♥豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興

青少年の成長支援

～心豊かなたくましい青年を育む～

青少年が将来への夢を持ち、自らの力で時代を切り拓くことができるよう、家庭・学校・地域社会が連携し、一体となって取り組む必要があります。本市では青少年育成計画に基づき、「生きる力」を備えた青少年の育成を目指します。

1. 青少年活動の拡充

青少年の健全育成を図るため、家庭教育の充実や青少年の自主活動・社会参加の促進に努めています。また、地域でのプレイパーク活動の支援や国内外の都市の青少年との交流にも力を入れています。

さらに、子ども文化会館、金峰山少年自然の家、あそ教育キャンプ場、勤労青少年ホームなど青少年活動の拠点施設の機能充実と児童育成クラブによる放課後児童対策を充実します。

2. 青少年育成環境の整備

家庭・地域の教育力の向上支援策として、保護者等を対象とした家庭教育学級の開催や地域団体、PTAとの連携を図りながら、子ども会活動の支援、リーダーの育成を進めています。

非行防止活動としては、地域・学校・警察等との連携を図りながら、中心街及び地域での補導活動を行っています。

さらに、ヤングテレホンをはじめ、いろいろな青少年相談の充実にも取り組んでいます。



Happiness kumamoto

♥豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興

生涯学習の推進

生涯学習の推進

市民の学習意欲が年々高まる中で、本市では年間延べ約5万6千人の方々が、公立公民館等において生涯学習に取り組んでいます。また、公立公民館等の利用者は、講座生及び貸館など含めると延べ71万人に達しています。

生涯学習社会の実現を目指して、社会の変化や市民のニーズに的確に対応する生涯学習の総合的・効果的な推進を図るため、平成4年8月、熊本市生涯教育基本調査委員会から「熊本市における生涯教育推進方策」について3項目にわたり提言を受けました。

この提言をふまえ、本市が先に策定した21世紀を展望した「基本構想」「基本計画」における生涯学習の諸施策について取り組んでいます。

図書館

図書館は、76万冊余の図書資料の貸出、読書相談のほか、図書展、本の読み聞かせや紙芝居、読書啓発のための郷土史をはじめとする講演会、視聴覚ライブラリーの子ども・名作・日曜映画会等の催しを行っています。

また、図書館は、移動図書館、分館機能を有する14カ所の公民館等図書室と共に本市の図書サービスネットワークを形成し、多数の市民に利用されています。

なお、高度化、多様化した市民の読書需要にこたえ、21世紀を展望し

た生涯学習の基幹施設として、また、市民に愛される文化拠点施設としてハード・ソフト両面から整備を進めています。

公民館

専用施設の中央公民館と各地域に複合施設として、西部、南部、東部、龍田、託麻、幸田、清水、秋津、大江、花園、北部、飽田、五福公民館の合わせて14の公立公民館があります。また、北部公民館に北部東、西里の2つの分館があり、中央公民館の分室が、天明と河内にあります。

このほか、市民の身近な生涯学習の場である地域公民館（公民館類似施設）が422館あり、それぞれ地域の特色を生かした様々な活動を展開しています。

博物館

熊本城三の丸地区にある博物館は、自然・人文・理工科学関係資料約5,000点を展示し、これにプラネタリウムを併設した県内唯一の総合博物館です。

また、資料収集・調査等を行うとともに教育普及活動として「化石講座」をはじめとする各種学習講座の開設、特別展示会・移動博物館、子ども科学ものづくり教室を開催するなど多くの人々に利用されています。

平成11年度は特別展「加藤・細川両家と熊本城」を開催し好評を得ました。



公民館における陶芸教室

Happiness kumamoto

♥豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興

生涯スポーツの振興



熊本市民スポーツフェスタ 夏季大会

本市では、全ての市民がスポーツを通して、健康的でいきいきと生活できる都市を目指して、「スポーツ都市宣言」を行い、市民がいつでもスポーツに親しめる機会を拡充するために、総合的な生涯スポーツ振興施策を進めています。

1 スポーツ機会の充実

市民の多様なスポーツ活動を支援

するために、スポーツ指導者の育成や地域に根ざし日常的にスポーツや健康づくりを行う、地域スポーツクラブを各地に育成し、その運営を支援します。

また、市民総参加のスポーツ大会の開催や各種スポーツ大会への支援はもとより、誰もが気軽に参加できるようなスポーツの普及啓発を図る

などスポーツ活動の機会の充実に取り組んでいます。

2 スポーツ施設の活用

市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、公園機能を備えた浜線健康パークや南部総合スポーツセンターをはじめ、野球場、競技場、武道場、体育館などのスポーツ施設があり、多くの市民の方々に

利用されています。

今後とも、市民一人ひとりが日常生活の中でいつでも気軽に利用でき、身近なスポーツ施設として、整備の充実を図り、施設利用者の利便性の向上と有効活用に努めていきます。

芸術文化

人々に深い感動を与え、心の豊かさを満たす芸術文化は、毎日の生活に潤いと安らぎを与えます。

優れた公演や美術作品の鑑賞、日頃の文化活動への参加など、生活の中に芸術文化を求める人々が増加しています。多くの人が芸術文化を楽しむため、文化活動に触れる機会を拡充したり、文化活動を楽しむ人々の裾野を広げ、質を高めるため、様々な事業を実施しています。

また、全国へ向け薫り高い熊本独自の文化の発信を図るために、新たな芸術文化が生まれる環境の整備や文化活動者に対する積極的な支援を行っています。

地域文化

各市民センターや公民館、コミュニティセンター等では、市民がより身近に文化に接し、様々な文化活動を展開できるような場の提供や機会の創出に努めています。

又、地域に継承され、育まれてきた伝統文化を再認識し、理解や関心を深め、一層活発な文化活動や文化交流を促進し、新たな地域文化を創造していきます。

生活文化

今、私たち個々の価値観が多様化している中、衣・食・住など日常生活そのものも自分に合ったスタイルへと変化しています。

日々の暮らしの中で生活文化が生

Happiness kumamoto

♥豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興

市民文化の創造

まれ、潤いや心のゆとりを求める創造は、みなさん一人一人が担い手となっています。この生活文化への活力が高まることは、幸せを感じるまちづくりを目指す中で、大きな役割を果たしていくものと考えます。

本市では、みなさんの生き生きとした生活文化活動を支援し、また地域の特性とニーズを反映できるように、様々な方面（文化、経済、環境、教育等）から生活文化の向上、活性化に取り組んでまいります。

人づくり基金

高齢化、国際化、情報化が進展する現代の社会は、価値観が多様化しています。このような中、時代に流されない広い視野、豊かな感性を持つ人材が必要とされます。

多くの市民の方々から寄せられた浄財を基金として創設された「熊本市制100周年記念人づくり基金」では、社会の各分野で、将来指導者として活躍する人材に育てていただくよう研修費等の助成を行っています。

これまで134件の個人・団体の方々が援助を受け、更に研鑽を積み、ふるさと熊本の発展と次代の人々の育成に貢献されています。



刑部邸コンサート



研修成果の発表

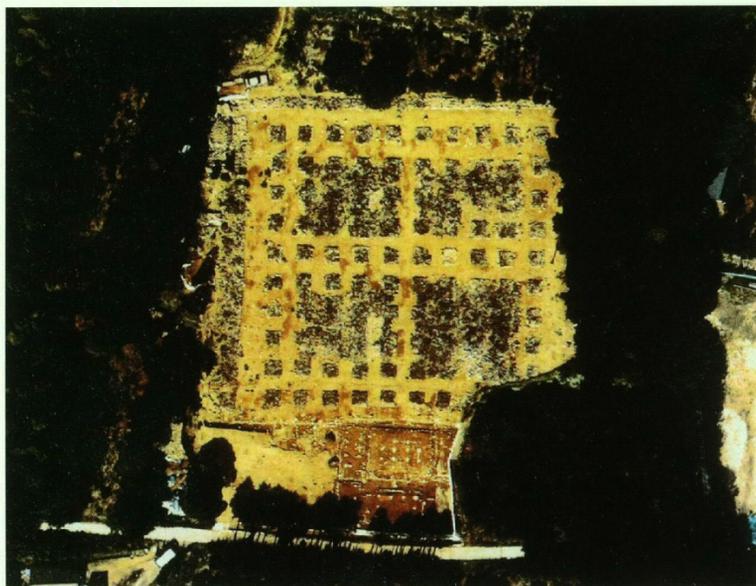
歴史的文化遗产の継承と活用

文化財は先人の残した宝物であり、市民共有の財産です。それを守り後世に伝えることが個性豊かなまちづくり、歴史を生かしたまちづくりにも大きな役割を果たすもので、その保存・活用に努めています。

市域内では古代からの人々の生活の営みの跡が466カ所確認されています。特に池上町平の国指定史跡「池辺寺跡」は平安時代の山岳密教寺院跡と考えられ、磚敷（レンガの一種）の建物跡や規則的に並ぶ百基もの不思議な石積みが発見されており全国的にも珍しい遺跡です。

また、熊本市は幕末から明治、大正、昭和と時代の大きなうねりの中で、歴史を見続けてきた熊本城や旧第五高等学校（現熊本大学）本館などの重要文化財が残されているほか、横井小楠を初め多くの思想家や文豪が活躍してきた地でもあります。市では現在、市指定文化財「小泉八雲熊本旧居」を始めとし8カ所の記念館を一般公開して、ふるさとを築いてきた先哲を顕彰しています。

他に、多くの伝統芸能や伝統技術なども数多く伝えられていますが、これらの保存継承のため後継者育成などの支援にも努めています。



池辺寺跡



池辺寺伝来宝物 五鈷鈴 独鈷杵



小堀流踏水術



旧第五高等学校本館（五高記念館）



小泉八雲熊本旧居



熊本城 復元予想図

現存する建造物

重要文化財

- ①宇土櫓
- 源之進櫓
- 四間櫓
- ②十四間櫓
- ③七間櫓
- ④田子櫓
- 東十八間櫓
- 北十八間櫓
- 五間櫓
- 不開門

- 平櫓
- 監物櫓
- （新堀櫓）
- ⑤長堀

その他

- ⑥平御櫓
- ⑦西大手門
- ⑧類当御門
- ⑨大天守
- ⑩小天守

復元予定の建造物

- ⑪数寄屋丸二階御広間
- ⑫西櫓御門
- ⑬馬具櫓
- ⑭旧細川刑部邸
- A戌亥櫓
- B元太鼓櫓
- C未申櫓
- D南大手門
- E飯田丸五階櫓
- F百間櫓
- G竹の丸五階櫓
- H本丸御殿大広間
- I数寄屋丸五階櫓
- J御裏五階櫓
- K櫓方三階櫓
- L北大手門

熊本城

本市には歴史と文化に培われた多くの文化財が継承され、191件が国・県・市の指定を受けています。その中で、歴史都市くまもとの象徴となっているのが熊本城です。

熊本城は加藤清正が築いた約98万平方メートルにも及ぶ豪壮雄大な城であり、本丸、二の丸を中心とした43万平方メートルは国の特別史跡に、また、現存する宇土櫓、長堀など13棟の建物が国の重要文化財に指定さ

れています。

熊本城復元整備

熊本城は、かつて大小2つの天守閣をはじめ櫓49、櫓門18、城門29の建造物があったといわれていますが、明治4年の鎮西鎮台設置後、城内の軍事施設化に伴う解体・撤去が始まり、明治10年の西南の役の際には、熊本のシンボルとして聳えていた天守閣をはじめ本丸御殿など本丸内の建物も原因不明の出火により焼失するなど、その多くが失われてしま

ました。

そこで、本市では、この貴重な歴史遺産である熊本城を後世に継承するため、昭和35年の天守閣再建をはじめ西大手門、数寄屋丸二階御広間等の建造物の復元、石垣等の保全に力を入れてまいりました。

今後は、熊本城の魅力をさらに高めるため、歴史的建造物の復元はもとより、市民の憩いの場として、また観光拠点として、総合整備を図ることとし、現在、その本格的な復元

整備を進めています。築城400年にあたる平成19年（2007）までには、西出丸一帯の櫓や堀、門、そして飯田丸五階櫓及び本丸御殿大広間等を復元する予定です。

また、市民総参加による復元整備を目指して創設した復元募金には、市内をはじめ全国の多くの方々から心温まるご支援を頂いています。

Happiness kumamoto

しあわせ実感、夢と活力の「生活首都」

行政



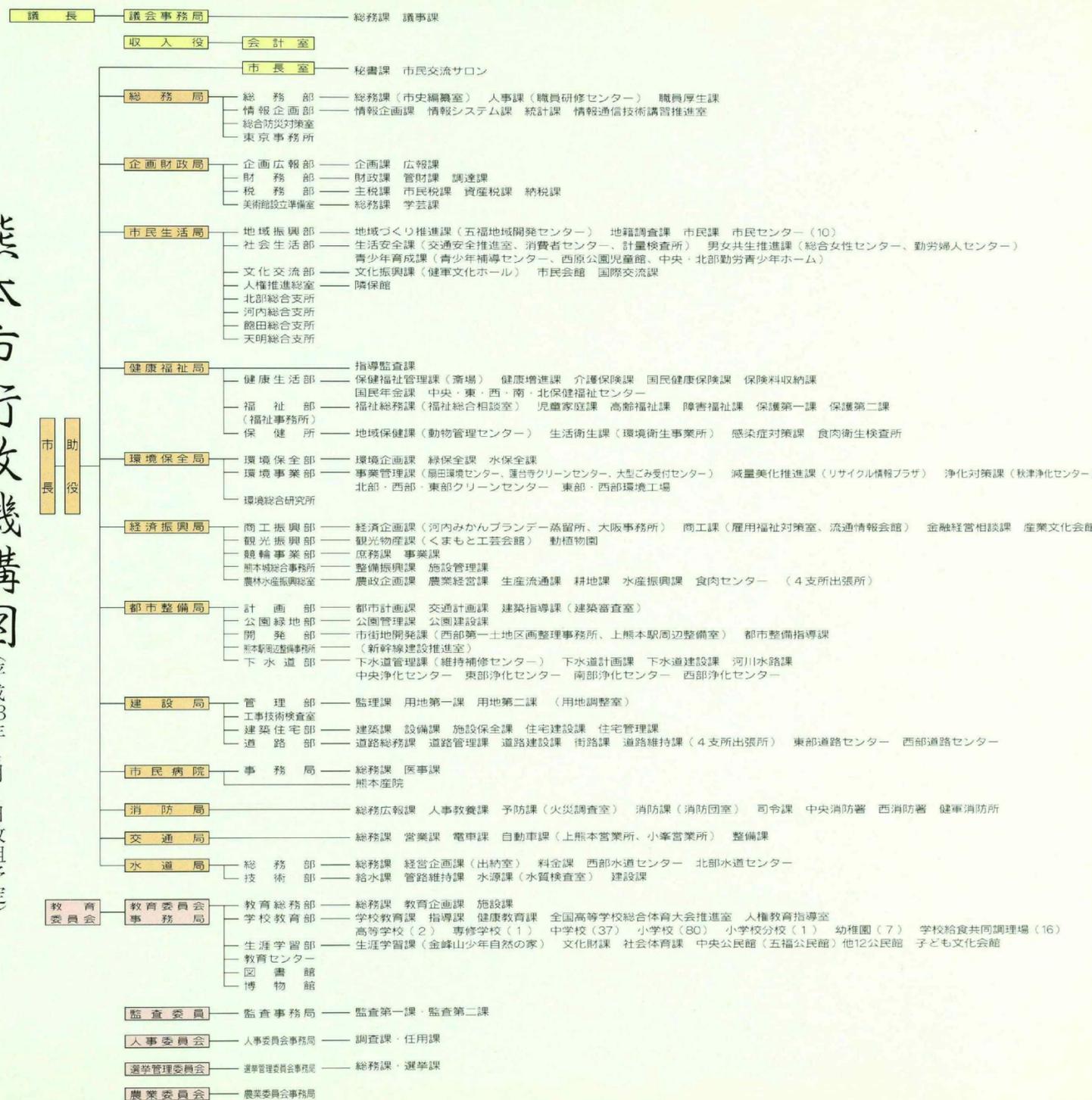
左から岩本洋一収入役、三角保之市長、後藤勝介助役

歴代市長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉村大八	明治22.5.6	明治26.7.9	第11代	平野龍起	昭和17.6.25	昭和20.8.10
2	松崎為己	" 26.9.15	" 30.8.2	12	石坂繁	" 20.10.4	" 21.3.11
3	辛島格	" 30.9.13	大正2.1.20	13-14	福田虎亀	" 21.6.14	" 23.2.9
4	山田珠一	大正2.4.2	" 3.10.10	15	佐藤真佐男	" 23.4.7	" 27.3.7
5	依田昌兮	" 4.1.14	" 6.9.3	16	林田正治	" 27.3.20	" 31.2.23
6	佐柳藤太	" 6.11.20	" 10.11.19	17-18	坂口主税	" 31.3.16	" 38.1.4
7	高橋守雄	" 11.1.19	" 14.7.13	19-20	石坂繁	" 38.2.15	" 45.11.26
8	辛島知己	" 14.9.14	昭和4.7.4	21~24	星子敏雄	" 45.12.20	" 61.12.6
9	山田珠一	昭和5.2.5	" 9.4.17	25-26	田尻靖幹	" 61.12.7	平成6.12.6
10	山隈康	" 9.5.14	" 17.5.13	現市長	三角保之	平成6.12.7	在任中

熊本市行政機構図

(平成13年4月1日改組予定)



Happiness kumamoto

♥しあわせ実感、夢と活力の「生活首都」

市議会



江藤正行議長

市議会は、市民から選ばれた議員52名（現員51名）で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団（22名）、平成クラブ（9名）、くまもと21（8名）、公明党熊本市議団（7名）、日本共産党熊本市議団（3名）、無所属（1名）、自由クラブ（1名）の7会派が結成されています。

会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は総務・教育市民・保健福祉・環境水道・経済交通・建設の6委員会に分かれ、所管部門の事務を調査し、議案・陳情などの審査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置されますが、付議された事件を審査するもので、現在、都市活性化対策・少子化及び青少年健全育成対策の各特別委員会があります。



鈴木昌彦副議長

■歴代市議会議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	有馬源内	明治 22.4.26	明治 24.1.21	15	大塚勇次郎	昭和 26.5.15	昭和 30.4.20	29	島永慶孝	昭和 54.5.14	昭和 56.12.8
2	興津景章	" 24.1.22	" 28.5.13	16	兼坂安次	" 30.5.21	" 34.4.8	30	藤山増美	" 56.12.8	" 58.4.30
3	河原惟親	" 28.5.14	" 31.5.22	17	打出安信	" 34.6.12	" 36.3.24	31	宮原美男	" 58.5.18	" 60.9.6
4	吉永為己	" 31.5.23	" 36.2.5	18	寸坂幸夫	" 36.3.24	" 38.4.30	32	大石文夫	" 60.9.6	" 61.12.15
5	山田珠一	" 36.2.6	" 37.4.30	19	安部次郎	" 38.5.18	" 40.3.18	33	内田幸吉	" 61.12.15	" 62.4.3
6	吉永為己	" 37.5.27	大正 2.4.30	20	井上常八	" 40.3.18	" 40.12.7	34	西村建治	" 62.5.22	" 63.12.16
7	林千八	大正 2.5.10	" 6.4.30	21	石井辰雄	" 41.7.4	" 42.4.30	35	村上春生	" 63.12.16	平成 2.3.26
8	山隈康	" 6.5.15	" 10.9.30	22	安部次郎	" 42.5.20	" 43.7.3	36	矢野昭生	平成 2.3.26	" 3.4.30
9	迫源次郎	" 10.10.14	" 14.9.30	23	坂梨日露	" 43.7.13	" 45.12.4	37	嶋田幾雄	" 3.5.17	" 5.12.3
10	山隈康	" 14.10.12	昭和 9.5.7	24	黒田弥一郎	" 45.12.4	" 46.4.30	38	中村徳生	" 5.12.3	" 7.4.30
11	平野龍起	昭和 9.5.8	" 17.6.14	25	落水清	" 46.5.20	" 48.6.6	39	荒木哲美	" 7.5.19	" 9.3.27
12	佐藤真佐雄	" 17.7.23	" 22.4.29	26	古川国男	" 48.6.6	" 50.4.30	40	主海偉佐雄	" 9.3.27	" 11.4.30
13	佐藤真佐雄	" 22.6.9	" 23.4.7	27	紫垣正	" 50.5.16	" 52.6.4	41	江藤正行	" 11.5.21	在任中
14	大塚勇次郎	" 23.6.5	" 26.4.29	28	上垣堅太	" 52.6.4	" 54.4.30				

■歴代市議会副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	下田直造	明治 22.4.26	明治 24.1.21	17	橋本寿七	昭和 9.5.8	昭和 17.5.20	33	荒木昇美	昭和 48.6.6	昭和 50.4.30
2	下田耕十郎	" 24.1.22	" 31.5.22	18	西本一勇	" 17.6.11	" 22.4.29	34	藤山増美	" 50.5.16	" 52.6.4
3	片山甚十郎	" 31.5.23	" 32.2.7	19	大塚次郎	" 22.6.9	" 23.6.5	35	矢野重武	" 52.6.4	" 54.4.30
4	林定男	" 32.2.8	" 36.2.5	20	加藤恒利	" 23.6.5	" 26.4.29	36	上野重武	" 54.5.14	" 56.12.8
5	出田彦太郎	" 36.2.6	" 36.2.11	21	北上民勉	" 26.5.15	" 28.9.5	37	田口政	" 56.12.8	" 58.4.30
6	園部正雅	" 36.2.12	" 36.5.11	22	森野勉	" 28.9.25	" 30.4.30	38	白石正義	" 58.5.18	" 60.9.6
7	有板正格	" 36.5.12	" 37.2.12	23	森野光貞	" 30.5.21	" 32.12.28	39	北村政	" 60.9.6	" 61.12.15
8	有板正格	" 37.2.13	" 40.11.4	24	吉村貞次	" 34.6.12	" 35.3.21	40	吉村裕	" 61.12.15	" 62.4.30
9	板垣正	" 40.11.14	" 42.1.27	25	坂梨貞次	" 35.3.21	" 37.7.9	41	竹村裕	" 62.5.22	" 63.12.16
10	井垣正	" 42.1.28	大正 2.4.30	26	吉村貞次	" 37.7.9	" 38.4.30	42	村上裕	" 63.12.16	平成 2.3.26
11	井垣正	" 6.4.30	" 6.4.30	27	石井貞次	" 38.5.18	" 41.7.4	43	佐藤公	平成 2.3.26	" 3.4.30
12	井垣正	" 7.3.10	" 7.3.10	28	吉村貞次	" 41.7.4	" 42.4.30	44	西田寛	" 3.5.17	" 5.12.3
13	藤上誠	" 7.3.11	" 10.9.30	29	佐古貞次	" 42.5.20	" 44.3.24	45	伊形寛	" 5.12.3	" 7.4.30
14	水野誠	" 10.10.14	" 14.9.30	30	佐古貞次	" 44.3.25	" 44.6.28	46	宮原正	" 7.5.19	" 9.3.27
15	河野龍	" 14.10.12	昭和 4.9.30	31	岩尾男	" 44.9.13	" 46.4.30	47	中沢誠	" 9.3.27	" 11.4.30
16	平野龍	昭和 4.10.12	" 9.5.7	32	阪本富	" 46.5.20	" 48.6.6	48	鈴木昌彦	" 11.5.21	在任中

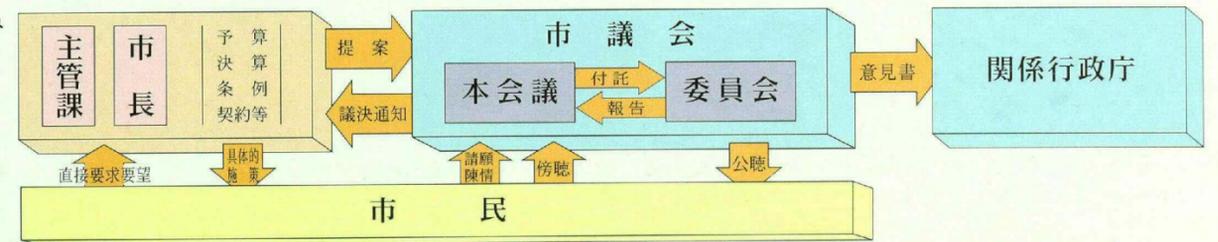
■市議会議員（平成13年3月31日現在）

氏名	会派	氏名	会派	
江藤正行	自民党	北口和皇	自由	
鈴木昌彦	平成	田辺正信	くま	
原亨	自民党	大江政久	くま	
津田征士郎	自民党	島田俊六	公明	
鷲山法雲	自民党	荒木哲美	自民	
上野美恵子	共産	主海偉佐雄	自民	
村上博	くま	21	落水清弘	自民
小山久子	くま	21	奥田光弘	平成
日和田よしこ	公明	党	宮原政一	平成
藤岡照代	公明	党	益田牧子	共産
坂田誠二	自民	党	上村恵一	くま
竹原孝昭	自民	党	磯道文徳	公明
藤山英美	平成	ク	西村泰史	公明
田中誠一	平成	ク	中村徳生	自民
下川寛	平成	ク	嶋田幾雄	自民
重松孝文	共産	党	竹本勇	自民
家入健児	くま	21	田尻武男	自民
中安弘	くま	21	白石正	自民
佐々木俊和	くま	21	矢野昭三	自民
鈴木弘	公明	党	島永慶孝	自民
牛嶋弘	自民	党	村山義雄	無所
古川泰三	自民	党	大石文夫	自民
税所史熙	自民	党	紫垣正良	自民
岡田健士	自民	党	西村建治	平成
田尻清輝	平成	ク	亀井省治	公明

■常任・特別委員会（平成13年4月1日予定）

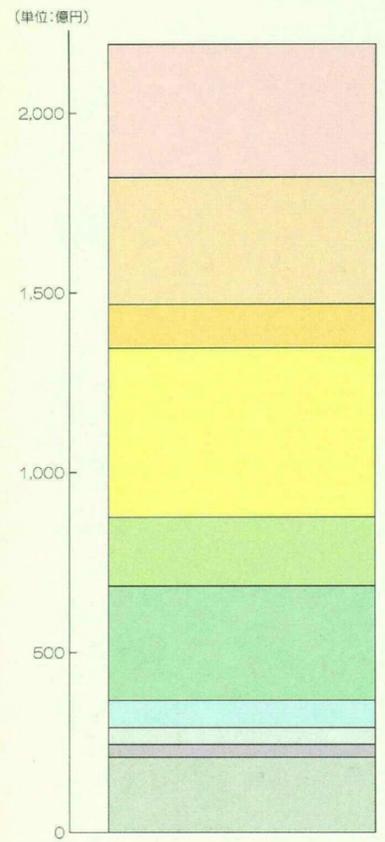
名称	定数	所管事項
総務委員会	9	市長室、総務局、企画財政局、会計室、消防局、選挙管理委員会、監査委員会、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属さない事項
教育市民委員会	9	市民生活局、教育委員会の所管に属する事項
保健福祉委員会	9	健康福祉局、市民病院の所管に属する事項
環境水道委員会	8	環境保全局、水道局の所管に属する事項
経済交通委員会	8	経済振興局、農業委員会、交通局の所管に属する事項
建設委員会	9	都市整備局、建設局の所管に属する事項
議会運営委員会	13	議会運営に関する調査
特別委員会	13	都市活性化対策特別委員会 新幹線整備及び都市の活力をもたらす基盤整備のための対策に関する調査
	13	少子化及び青少年健全育成対策特別委員会 少子化対策及び青少年の健全育成対策に関する調査

■市議会のしくみ



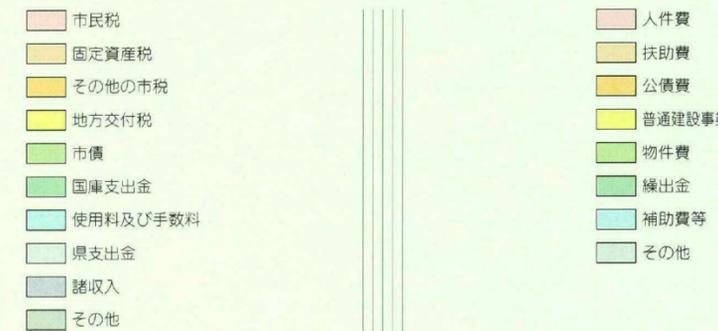
♥しあわせ実感、夢と活力の「生活首都」

財政



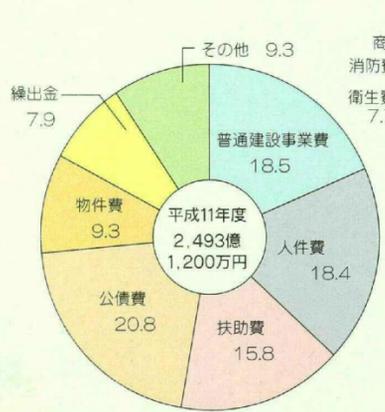
■平成12年度当初予算(一般会計)構成比

総額2,190億円

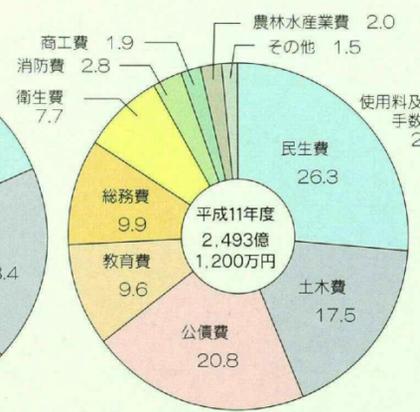


■平成11年度決算(一般会計)の状況

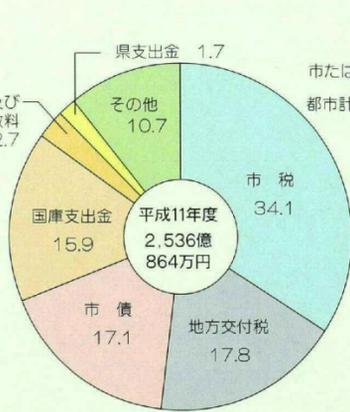
①性質別経費の状況



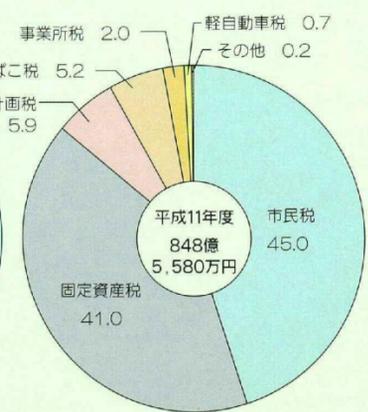
②目的別経費の状況



③歳入内訳



④市税収入の税目別内訳



♥しあわせ実感、夢と活力の「生活首都」

広報・広聴

市民の自治意識が高まる中、市民の市政への参加を促すため、市民と行政の相互理解が不可欠です。このため、広報広聴活動では積極的な情報提供に努めるとともに、市民の声を適宜市政に反映できるよう全力で取り組んでいます。

〈広報活動〉
市政だよりなどの刊行物による広報
毎月発行の市政だよりのほか、目の不自由な方のために点字、音声、拡大版の市政だよりも作成しています。また、市民に関わりの深い市役所の窓口業務や施設などを紹介した「生活便利ブック」や本市を対外的に広く紹介する都市PR誌「よかま

ちくまもと」を発行しています。

テレビ、ラジオによる広報
市の施策、行事、施設にかかわるタイムリーな話題などを広報番組としてテレビ、ラジオで放送しています。それぞれのメディアの特性を生かした番組づくりを行っています。

新聞、雑誌などによる広報
市政の動きや生活に密着した情報などを新聞紙上や雑誌、タウン誌などに掲載しています。

報道機関を通じた広報
市政に関する情報や資料を報道機関に提供するなどパブリシティ活動を積極的に行っています。

〈広報・交流活動〉
市民交流サロンは、市民からのまちづくりへの提案や要望を聴き、市政に反映させます。また、市民の交流の場としても利用されています。

市政懇談会
市長が地域に出向き、様々な提案・要望について、意見交換を行う直接対話の機会を持ちます。

出前市民交流サロン
特色あるまちづくりを推進するため、市民交流サロンの職員が地域に出向き、身近な問題や市政全般について懇談を行っています。

サロンdeトーク
市長をはじめ市の幹部職員が市民交流サロンで市民と懇談し、よりよい市政を実現するために意思の疎通を図ります。

市長への手紙、わたしの提言
市政への提案や要望、熊本市の将来像などを手紙やFAX、インターネットで受け付けています。

市政に関する市民意識調査
市民の多様化する要望、意見などを統計的に把握するため、アンケートによる調査を行い、将来のまちづくりの参考としています。

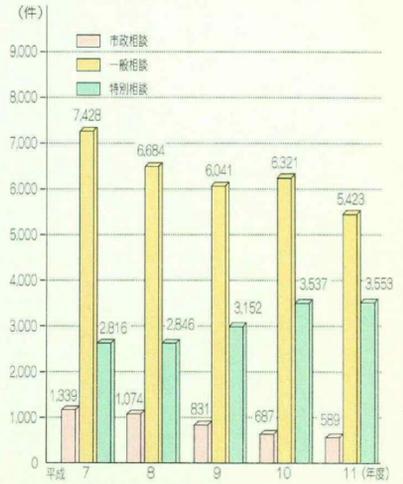
市政モニター
市内全小学校区に任期2年の市政モニター80名と任期1年のヤングモニター20名を委嘱し、市政に関する意見を聴いています。

ランチタイム・サロン
市役所をもっと身近に感じてもらうため、昼休みの時間を利用してコンサートなどを開催し、憩いのひとときを提供しています。

市民相談
市民の様々な相談に迅速に対応、処理しています。市政に関する市政相談と民事に関する一般相談や弁護士、税理士などの専門相談員による特別相談を行っています。

ボランティア活動推進
ボランティア活動に関する情報の収集・提供・相談のほか、ボランティア活動をしたい人やグループを登録し、必要とする施設や団体などに紹介しています。

「市民の声」受付件数の推移



市政懇談会

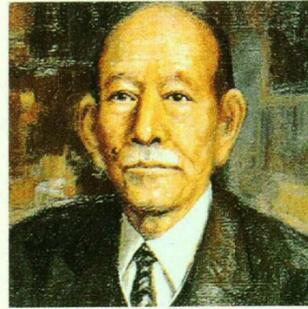
徳富蘇峰(本名猪一郎)氏
(昭和30年1月1日表彰)

近世日本の先覚者。また、世界に稀な優れた思想家であった。熊本在住中は、白川新聞、熊本新聞等を発刊。大江義塾の創始者として子弟の教育に専念し、その啓蒙的影響が大であった。文久3年1月25日生れ、昭和32年11月2日死去、94歳。



高橋守雄氏
(昭和30年1月1日表彰)

第7代熊本市長として、歩兵23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽した。また、教育者として熊本商大、短大を卒業し、郷土教育の振興育成に努力した。明治16年1月1日生れ、昭和32年5月3日死去、73歳。



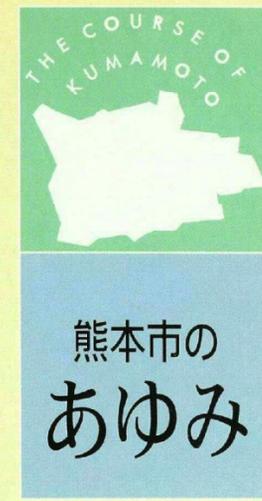
細川護立氏
(昭和35年4月1日表彰)

肥後旧藩主細川家16代。有斐学舎舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身学徒の育成援護に尽した。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献。明治16年10月21日生れ、昭和45年11月18日死去、87歳。



福田令寿氏
(昭和35年4月1日表彰)

医師開業のかたわら、医専五高等で教鞭をとり子女の教育に専念の外、社会文化、社会福祉の要職を歴任、郷土の文化・福祉の向上発展に尽した。清廉・潔白な人格者であった。明治5年12月7日生れ、昭和48年8月7日死去、100歳。



熊本は、昔から「火の国」と呼ばれてきました。大化の改新のあと、奈良時代に入って現出水校区内に国府がおかれ、ここを中心に聚落が形成されるようになりました。こののち、平安・鎌倉時代を経て室町時代になると、菊池一族である出田秀信がはじめて熊本に千葉城を築き、数代後の城主鹿子木親員が、新しく茶臼山に城を築いて隈本城と呼びました。

豊臣時代に入って秀吉は全国を制覇するや小西行長と加藤清正に肥後を分領させたが、徳川の天下になると、加藤清正は肥後54万石の領主となり、慶長6年から茶臼山に築いていた新城を隈本城から熊本城に改めました。熊本が町としての体制を整えたのは、このころからです。続いて細川忠利が肥後の領主となり、大政奉還までの二百有余年を細川家が政治を行ってきました。

明治10年西南の役で兵火を受け、市街地の大部分を廃墟に帰しましたが、直ちに復興し、明治22年には熊本市が誕生しました。大正から昭和にかけては隣接町村を合併しつつ熊本市の基礎を固め、九州における政治・経済・教育の中心地として発展を続けました。その後、昭和20年には大空襲で、終戦後の復興期に

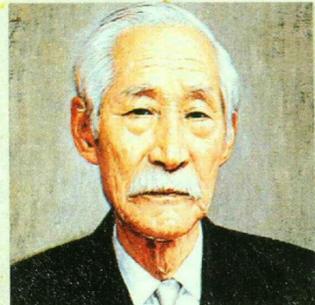
あった28年には未曽有の大水害によって、市街地は壊滅的な被害を受けました。しかし全市民の不断の努力によって、困難を克服した熊本市はその後数次にわたる市域の拡大や近代的都市機能の集積を行い、近時では平成3年2月1日、飽託郡の北部町、河内町、飽田町、天明町と合併し、人口約63万人、面積約266平方キロメートルの熊本市が誕生しました。

この合併を機に、さらなる発展を遂げ、辛島公園地下駐車場の完成、熊本港の一部開港等都市基盤の整備を進めると共に、平成7年には地球規模での平和と環境の保全を願い「平和都市宣言」や「環境保全宣言」を行い、加えて環境総合センターをオープンしました。

さらに、平成8年4月には、中核市へ移行し、開かれた市政を目指し、情報公開制度や行政改革大綱の作成などにより、ハード面だけでなく、ソフト面の充実を図ってきました。

今後は平成11年の国民体育大会のメイン会場となる市総合屋内プールの完成や「一口城主」による熊本城の復元整備等を進めるなど魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

名 *Kumamoto's* 誉 *Honorary* 市 *Citizens* 民



宇野哲人氏
(昭和44年10月1日表彰)
東京帝国大学での漢学・中国哲学の教授、東京大学名誉教授、実践女子大学学長、名誉教授等優れた業績は、郷土熊本の文運の興隆に、また、我国の漢学関係の学究者に多大の影響を与えた。明治8年11月15日生れ、昭和49年2月19日死去、98歳。



堅山南風(本名熊次)氏
(昭和44年10月1日表彰)
横山大観画伯等に師事し、日本画に精進。その多くの作品の上に、肥後の郷土色のにじみ出た芸術の香りがよく生かされている。日本画壇の第一人者といわれ、また、郷土文化の進展に大きく貢献した。明治20年9月12日生れ、昭和55年12月30日死去、93歳。

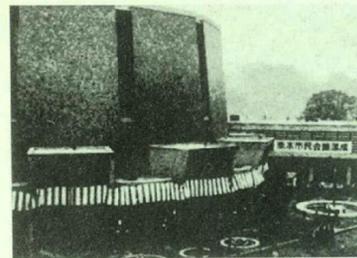


後藤是山(本名祐太郎)氏
(昭和54年10月1日表彰)
元九州日日新聞社主筆。生来の文人墨客の性格と豊かな文筆で、数多くの郷土史を編さん監修、先人についての研究著述があり熊本の文化の啓蒙に尽した。「明星」同人、句誌「かはがらし」(後の東火)を主宰した。明治19年6月8日生れ、昭和61年6月4日死去、99歳。



中村汀女(本名破腐)氏
(昭和54年10月1日表彰)
高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした「汀女俳句」は、氏の人柄と句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献。「ホトギス」同人、「風花」を主宰した。明治33年4月11日生れ、昭和63年9月20日死去、88歳。

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
大化	2(646)	砂取付近に肥後の国府および兵力4軍団が設置	明	1校	が創立	明	7月	第五高等中学が古城から黒髪に移転	明	29(1896)	夏目漱石が高に着任、熊本を森の都と称賛
文明	1(1469)	菊池氏の一族、出田秀信千葉城を築く	明	1	鎮台花畑本宮と熊本城、現在の市民会館前から撮影したもので大小天守閣が見える。明治5年頃。	明	10月	熊本専売支局が黒髪町に葉煙草専売所設置	明	31(1898)	私立医学校が設立
明応	5(1496)	鹿子木親員、古城に居城を移し、隈本城と称する	明	22(1889)	市町村制が施行され、熊本市が誕生	明	10月	第1回帝国議会在開	明	10月	熊本専売支局が黒髪町に葉煙草専売所設置
慶長	6~12(1601~1607)	加藤清正、現在地に熊本城を築き、河川の築堤、井戸の掘削など行う	寛永	4~6(1754~1756)	藩校時習館、医学校再春館、蕃滋園(薬草園)などが創設	明	11月	門司・熊本間の九州鉄道が開通	明	10月	フランス人、ジョン・メリー・コール神父が癩癩済の徒勞院を設立
宝暦	9(1632)	細川忠利、肥後藩主となる	天明	4(1824)	藩校時習館、医学校再春館、蕃滋園(薬草園)などが創設	治	7月	熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がとれる	治	33(1900)	この年、市立避病院設立(後の白川病院)
天明	3(1870)	古城に医学校が創設	文政	3(1870)	古城に医学校が創設	治	23(1890)	教育勅語発令(井上毅と元田永孚が成案)	治	33(1900)	市内に大洪水、白川の橋ほとんど流失し、子飼橋付近溺死者多数
天保	4(1871)	廃藩置県により熊本県が設置	明治	6月	鎮西鎮台(九州および中国西部を管轄)が設置	治	24(1891)	ラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)五高に着任	治	7月	明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行
明治	7(1874)	九州最初の新聞、白川新聞発行	明治	6月	熊本洋学校が創立	治	7月	熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がとれる	治	35(1902)	明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行
明治	10(1877)	西南の役、市街地の大半が兵火により焼失	明治	6月	赤十字社熊本支部設立	治	11月	ラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)五高に着任	治	11月	行幸橋を架設
明治	19(1886)	熊本通信管理局(郵務・電務関係)が設置	明治	6月	新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁	治	11月	塘林虎五郎が貧児寮(現大江学園)を設立	治	36(1903)	市区改正の事業と新市街の事業完成
明治	20(1887)	第五高等中学校(九州に	明治	7(1874)	九州最初の新聞、白川新聞発行	治	25(1892)	孤児・貧児の養育を目的とした天使園が設立	治	36(1903)	日露戦争勃発
			明治	10(1877)	西南の役、市街地の大半が兵火により焼失	治	27(1894)	日清戦争勃発	治	37(1904)	熊本高等工業学校設立
			明治	19(1886)	熊本通信管理局(郵務・電務関係)が設置	治	28(1895)	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立	治	39(1906)	夏目漱石が「草枕」を発表
			明治	20(1887)	第五高等中学校(九州に	治	11月		治	9月	



昭和43年1月6日市民会館が完成。一、八〇〇人収容の大ホールと各種の会議室を備えた近代建築。



郷土熊本に根ざした西日本一を誇る熊本博物館が昭和53年4月1日に開館した。



平成2年4月、総合婦人会館・カルチャーセンターオープン。



昭和46年6月、熊本・植木間の高速自動車道が開通した。



昭和56年3月、産業文化会館が完成。



昭和56年11月、新市庁舎完成。



平成2年6月、水資源国際会議が開催。



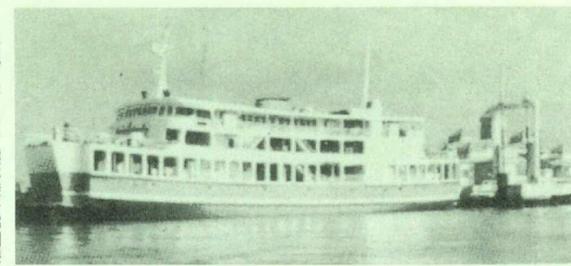
平成2年10月、「水の科学館」が開館。



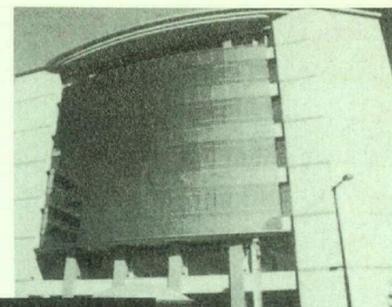
平成3年2月、熊本市と飽託郡四町が合併。



平成3年7月、「くまもと工芸会館」がオープン。



平成5年3月、熊本港一部開港。



平成6年9月、国際交流会館オープン。



平成5年9月、大名屋敷・旧細川刑部邸完成。



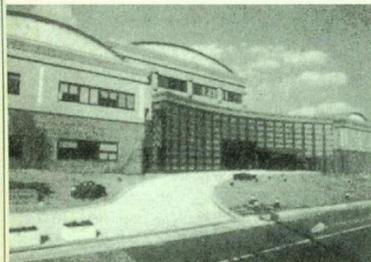
平成6年9月、「市民子ども憲章」を制定。



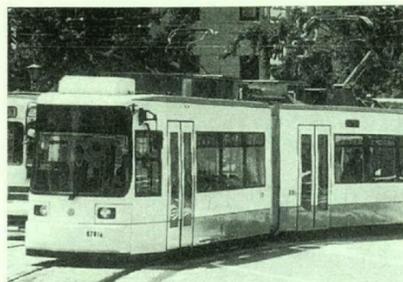
平成7年4月、市民交流サロンオープン。

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	
昭	56(1981)	さまる	昭	61(1986)	8月 秋津市民センター完成	平	3(1991)	8月 花園市民センターがオープン	
	1月	熊本市保健衛生研究所開設		10月	グ発表会)		9月	熊本市基本構想策定	
	2月	熊本城西大手櫓門復元完成		1月	熊本市自転車駐輪場完成		10月	平成学園オープン	
	3月	産業文化会館が開館		3月	電子計算システム始動		4月	「水の科学館」が開館	
	5月	託麻市民センター完成		4月	西部清掃工場完成・東部清掃事業所開所		2月	熊本市と飽託郡四町が合併	
	7月	熊本市総合計画基本計画		7月	総合体育館・青年会館開館		3月	熊本市基本構想策定	
	11月	さまる		8月	第4回全国都市緑化くまもとフェア開催		4月	五福地域開発センターが落成	
	57(1982)	新市庁舎建設完成		10月	10月1日を「市民健康の日」と制定		5月	本荘犬淵線立体交差開通	
	6月	幸田市民センター完成		和	62(1987)		4月 川尻下水処理場運転開始	6月	南部総合スポーツセンターがオープン
	7月	北部保健センター開設			4月		「ふれあいの森林」内に森林学習館がオープン	7月	くまもと工芸会館がオープン
11月	小楠記念館完成	5月	南部市民センター開設		9月	台風19号来襲			
58(1983)	市図書館完成	7月	西消防署が移転新築		10月	動物植物園がオープン			
4月	龍田体育館完成	9月	教育センターオープン		10月	熊本市総合計画基本計画策定			
59(1984)	市の鳥としてシジュウカラ制定	10月	第1回熊本緑化祭開催		3月	高規格救急車が消防局に配備			
5月	巖田埋立処分場供用開始	12月	米国・サンアントニオ市と姉妹都市締結		4月	熊本城周遊バスがスタート			
7月	清水市民センター完成	63(1988)	1月 くまもと女性フォーラム'88開催		5月	ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式			
8月	熊本市の人口が55万人を突破	2月	シルバー人材センター発足		6月	上高橋団地が完成			
10月	消防新庁舎完成	4月	大阪事務所オープン		7月	平成駅の開業			
60(1986)	母子福祉センター完成	7月	大江市民センター完成						
6月		8月	江津湖まつり(マイソソ						

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
平	8月	熊本駅前北地区第一種市街地再開発事業完了	平	7(1995)	8月 交通・水道事業70周年記念式典	成	10(1998)	8月 尼崎市と災害時相互応援に関する協定調印式
	11月	長寿の里デイサービスセンターが完成		9月	国際交流会館がオープン		9月	熊本市行政改革大綱策定
	5(1993)	南部第一土地区画整理事業完了		11月	「市民子ども憲章」を制定		10月	さくらカード(優待証交付事業)スタート
	2月	辛島公園地下駐車場が完成		1月	福井市と姉妹都市締結		4月	くまもとお城まつり開幕
	3月	環境総合計画まとまる		3月	兵庫県南部地震第1次災害救援隊派遣		6月	総合屋内プール(アクアドームくまもと)完成
	8月	熊本市基本構想策定		4月	子ども文化会館オープン		7月	中核市サミット'98in熊本開催
	10月	保田窪放水路完成		5月	健康文化ホールオープン		9(1997)	インターネット 熊本市ホームページ開設
	10月	新熊本市史発刊		6月	いじめ110番業務開始		11月	熊本市人口が66万人を突破
	10月	大名屋敷・旧細川刑部邸が完成		9月	市民交流サロンオープン		2月	パークアンドライドシステム試行
	5(1994)	駐車場案内誘導システムがスタート		5月	武蔵塚駅前自転車駐輪場オープン		3月	国体関連道路東西線・南北線供用開始
2月	「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕	6月	日吉東小学校完成	7月	熊本城復元整備事業に本格着手(南大手門等起工)			
4月	透明ごみ袋によるごみ出し制度スタート	9月	環境総合センターオープン	8月	熊本市スポーツ都市宣言を熊本市議会において決議			
5月	ゆうあいピック熊本大会開催	11月	高齢者世話付住宅水回地完成	9月	39年振りの国民体育大会「くまもとと未来国体」開催			
6(1994)	老人保健福祉計画を策定	12月	熊本市人口65万人突破	11月	全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと」大会開催			
2月	天明総合支所庁舎が完成	8(1996)	中核市政令公布	11月	リサイクル情報プラザ「エコー」完成			
4月	東部環境工場が完成	1月	第1回熊本県消防広域応援合同訓練	6月	「くまもと・よかよかボランティアプラン」策定			
5月	日吉・桜木中学校が開校	4月	中核市移行	8月	超低床電車運行開始、ノンステップバス運行開始			
5月	高速消防艇「金峰」が就航	5月	後藤山記念館落成	11月	手取本町地区第一種市街地再開発事業着工			



平成7年6月、環境総合センターオープン



平成9年8月、超低床電車運行開始
ノンステップバス運行開始



平成11年3月、国体関連道路東西線・南北線供用開始

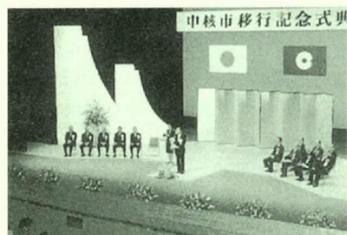


平成11年11月、
全国障害者スポーツ大会
「ハートフルくまもと大会」開催

平成10年1月、
環境情報表示板
運用開始



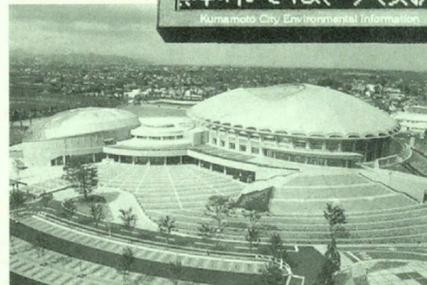
平成11年9月、第54回国民体育大会開催



平成8年4月、
中核市移行記念式



平成9年5月、男子世界ハンドボール
選手権大会・熊本開催



平成10年6月、
総合屋内プール(アクアドームくまもと)完成



平成10年7月、
中核市サミット'98in熊本開催



平成12年3月、
第5次熊本市総合計画基本構想策定

平成12年4月
熊本市ごみのない街を創る条例施行



平成12年7月
消防局に緊急消防自動二輪車
(2台)配備式



平成12年9月 熊本ウィーク・イン・ハイデルベルク開催

西暦	できごと	西暦	できごと
12(2000)		5月	乳幼児医療費助成対象拡大(ひまわりカード)
1月	上通A地区第一種市街地再開発事業着工	7月	消防局に緊急消防自動二輪車(2台)配備式
3月	第5次熊本市総合計画基本構想策定	9月	熊本ウィーク・イン・ハイデルベルク開催
4月	市立商業高等学校が千原台高等学校に名称変更 熊本市ごみのない街を創る条例施行	11月	水源かん養林造成に係る矢部町との森林整備協定締結

市民の暮らし

平成12年

世帯人口 1世帯当り2.5人	人口密度 1km ² に2,481人	出生 1日につき19.5人	死亡 1日につき11.9人
結婚 1日につき12.9組	離婚 1日につき4.5組	転入 1日につき89.4人	転出 1日につき87.3人
乗用自動車(軽自動車を含む) 1世帯に1.0台	犯罪 1日に26.3件	交通事故 1日に14.6件	市職員 市民100人に1人
火災 1日に0.70件	水道使用料 1日1人あたり258円	ごみ収集量 1日に945トン	消防職員 市民1,057人に1人
		市税 市民1人当り131,048円	市の予算 市民1人当り331,847円

(人口関係は平成12年分、予算は平成12年度当初予算額、その他は平成11年又は11年度分の数値)



GUIDE - MAP

熊本市案内図

資料編目次

1. 気象概況	82
2. 熊本市の校区面積	
3. 推計人口・人口動態	
4. 年齢別（5歳階級）男女別人口	
5. 熊本都市圏人口	83
6. 産業大分類別事業所数・従業者数	
7. 農家数・農業従業者数・耕地面積の推移	
8. 工業の主要指標	
9. 商業の主要指標	
10. 熊本市消費者物価指数	84
11. 熊本市全世帯1か月間の平均支出	
12. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況	
13. 道路状況	
14. 市内公園数及び面積	
15. 下水道状況	85
16. 医療施設	
17. ごみ・し尿収集処理状況	
18. 市民病院利用状況	
19. 市立産院利用状況	
20. 熊本市の主要死因別死亡者数	86
21. 生活保護状況	
22. 国民年金	
23. 国民健康保険給付状況	
24. 老人福祉状況	
25. 保育所の概要	87
26. JR市内駅乗客数状況	
27. 市内自動車登録台数	
28. 市営電車・市営バス利用状況	
29. タクシー及びハイヤーの登録台数	88
30. 電話の概況	
31. 郵便物取扱数	
32. 電灯・電力需要状況	
33. ガス需要状況	
34. 上水道給水状況	89
35. 交通事故の状況	
36. 刑法犯罪認知件数	
37. 火災の原因別件数	
38. 救急活動状況	
市内の主な官公庁	90

資料編

materials for statistics



kumamoto city
GUIDE - MAP
 熊本市案内図

■資料編目次

1. 気象概況	82
2. 熊本市の校区面積	
3. 推計人口・人口動態	
4. 年齢別（5歳階級）男女別人口	
5. 熊本都市圏人口	83
6. 産業大分類別事業所数・従業者数	
7. 農家数・農業従業者数・耕地面積の推移	
8. 工業の主要指標	
9. 商業の主要指標	
10. 熊本市消費者物価指数	84
11. 熊本市全世帯1か月間の平均支出	
12. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況	
13. 道路状況	
14. 市内公園数及び面積	
15. 下水道状況	85
16. 医療施設	
17. ごみ・し尿収集処理状況	
18. 市民病院利用状況	
19. 市立産院利用状況	
20. 熊本市の主要死因別死亡者数	86
21. 生活保護状況	
22. 国民年金	
23. 国民健康保険給付状況	
24. 老人福祉状況	
25. 保育所の概要	87
26. JR市内駅乗客数状況	
27. 市内自動車登録台数	
28. 市営電車・市営バス利用状況	
29. タクシー及びハイヤーの登録台数	88
30. 電話の概況	
31. 郵便物取扱数	
32. 電灯・電力需要状況	
33. ガス需要状況	
34. 上水道給水状況	89
35. 交通事故の状況	
36. 刑法犯罪認知件数	
37. 火災の原因別件数	
38. 救急活動状況	
市内の主な官公庁	90

資料編
materials for statistics

1. 気象概況

年次	気温(℃)			降水量(mm)		日照時間	風速(m/sec)			平均湿度(%)	地震回数(有感)
	平均	最高	最低	総量	最大日量		平均	10分間最大	瞬間風速		
平成9年	17.0	35.1	-3.5	2,395.0	243.5	2,102.0	2.0	10.9	22.8	71	25
10年	18.2	35.8	-6.1	1,905.0	135.0	1,863.8	1.9	11.0	26.3	72	14
11年	17.0	35.8	-4.3	1,946.0	154.5	1,867.4	2.3	24.9	49.0	70	18

2. 熊本市の校区面積 (平成6年10月1日現在)

単位: km²

校区	面積	校区	面積	校区	面積	校区	面積	校区	面積	校区	面積	校区	面積
壺川	1.14	城西	4.94	高橋	0.14	若葉	1.08	月出	0.84	飽田東	3.70	飽田東	3.70
碩台	0.63	花園	5.41	池上	6.84	城北	1.92	出水南	1.96	飽田南	3.64	飽田南	3.64
白川	1.05	池田	2.88	城山	4.31	尾上	1.58	健軍東	0.48	飽田西	4.89	飽田西	4.89
城東	0.96	出田	0.68	託麻原	1.76	西原	2.15	城南	1.72	中緑	3.42	中緑	3.42
慶徳	0.44	白坪	2.25	秋津	4.19	高平	3.52	田南	1.68	銭塘	4.86	銭塘	4.86
一新	1.58	画図	5.66	松尾東	4.90	楠東	0.80	弓削南	1.24	奥古閑	7.53	奥古閑	7.53
五福	0.32	砂取	2.09	松尾西	4.48	託麻西	11.09	託麻南	2.01	川口	3.57	川口	3.57
向山	1.42	健軍	2.01	松尾北	2.34	託麻北	3.35	山内	1.38	長嶺	2.81	長嶺	2.81
黒髪	4.00	清水	3.47	松ヶ丘	1.54	託麻北	6.51	楡木	1.25				
大本	1.40	日吉	3.69	小島	4.97	桜木	1.99	川上	10.22				
春竹	0.53	力尻	4.34	龍田	4.71	東町	1.65	西北部	15.96				
古町	0.54	御幸	3.22	帯山	1.59	麻生	2.16	芳野	23.23				
春日	1.70	田迎	2.07	白山	1.14	帯山	0.86	河内	10.72	合計	266.25		

3. 推計人口:人口動態

年次	世帯数	人口	転入			転出			出生	死亡
			総数	県外	県内	総数	県外	県内		
平成10年	258,834	659,748	33,736	21,998	11,748	33,194	21,981	11,213	7,019	4,133
11年	261,950	661,619	31,750	20,500	11,250	32,642	21,244	11,398	6,925	4,551
12年	260,636	662,123	32,731	20,876	11,855	31,942	20,801	11,141	7,146	4,369

(注) 世帯数・人口は各年10月1日現在。
(注) 異動数、出生数、死亡数は歴年の数値である。

4. 年齢別(5歳階級)男女別人口 (平成11年10月1日現在)

年齢	計	男	女	年齢	計	男	女	年齢	計	男	女
総数	661,619	314,907	346,712	35~39歳	43,026	20,337	22,689	75~79歳	19,441	7,154	12,287
0~4歳	34,009	17,401	16,608	40~44歳	44,408	21,362	23,046	80~84歳	12,311	4,232	8,079
5~9歳	33,870	17,420	16,450	45~49歳	49,282	23,549	25,733	85~89歳	7,811	2,349	5,462
10~14歳	38,055	19,428	18,627	50~54歳	46,545	22,226	24,319	90~94歳	3,248	747	2,501
15~19歳	42,695	22,124	20,571	55~59歳	38,136	17,525	20,611	95~99歳	834	153	681
20~24歳	56,443	29,979	26,464	60~64歳	34,305	15,601	18,704	100歳以上	121	18	103
25~29歳	52,045	25,767	26,278	65~69歳	33,159	14,963	18,196				
30~34歳	44,191	20,593	23,593	70~74歳	27,684	11,979	15,705				

5. 熊本市圏人口

地域	総人口			増減数		増減率(%)		面積(km ²) (平成12年)	1km ² あたり 人口密度 (平成12年)
	平成2年	平成7年	平成12年	2~7年	7~12年	7/2年	12/7年		
熊本県	1,840,326	1,859,793	1,859,451	19,467	△342	1.1	0.0	6,908.32	269
都市圏	736,987	770,102	788,072	33,105	17,970	4.5	2.3	459.43	1,715
熊本市	579,306	650,341	662,123	71,035	11,782	12.3	1.8	266.77	2,482
10町計	157,681	119,761*	125,949*	...	6,188	...	5.2	192.66*	654*

(注) 面積は国土交通省国土地理院発行「平成12年全国都道府県市区町村別面積調」による。 *6町である。

6. 産業大分類別事業所数・従業者数(民営) (平成8年事業所・企業統計調査)

産業別	事業所数	従業者数	産業別	事業所数	従業者数	産業別	事業所数	従業者数
総数	32,711	297,587	製造業	1,382	27,571	運輸通信業	870	17,382
農林漁業	35	467	卸売・小売業、飲食店	15,374	110,833	電気・ガス・熱供給・水道業	9	599
鉱業	7	62	金融保険業	800	17,246	サービス業	9,876	89,039
建設業	2,896	29,973	不動産業	1,462	4,415			

7. 農家数・農業従業者数・耕地面積の推移 (農業センサス)

年次	農家数(戸)				農業就業人口(人)	経営耕地面積(ha)			
	総数	専業	第1種兼業	第2種兼業		総面積	田	畑	樹園地
平成2年	3,961	1,056	902	2,003	7,696	3,789	2,528	984	277
7年	6,857	2,115	1,769	2,973	13,538	7,771	4,869	1,122	1,780
12年	5,310	1,766	1,374	2,170	11,858	7,150	4,519	939	1,692

(注) 平成12年は販売農家のみ。

8. 工業の主要指標 (工業統計調査)

年次	事業所数		従業者数				製造品出荷額等(百万円)	
	総数	対前年比	総数	対前年比	うち個人業主及び家族従事者数	常用雇用者数	総額	対前年比
平成9年	704	95.0	20,263	97.4	132	20,131	610,971	100.1
10年	702	99.7	19,736	97.4	137	19,599	532,020	87.1
11年	645	91.9	18,895	95.7	111	18,784	433,288	81.4

(注) 従業者4人以上の事業所。

9. 商業の主要指標 (商業統計調査)

年次	商店数				従業者数				年間商品販売額(百万円)			
	総数	卸売業	小売業	飲食店	総数	卸売業	小売業	飲食店	総数	卸売業	小売業	飲食店
平成4年	2,407	13,228	68,225
6年	10,964	3,058	7,906	...	76,865	33,103	43,762	...	3,039,117	2,229,891	809,227	...
9年	10,018	2,637	7,381	...	71,392	29,013	42,379	...	3,149,762	2,329,353	820,409	...

(注) 平成6年、9年は卸・小売業調査。
平成4年は飲食店調査。

10. 熊本市消費者物価指数 (平成7年=100)

年次	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履き物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成9年	101.9	102.0	104.0	103.1	96.1	104.4	104.9	96.6	104.9	101.4	101.8
10年	102.5	102.8	104.3	103.5	93.1	107.6	112.3	95.6	107.1	101.0	101.8
11年	102.5	102.9	104.5	102.0	91.6	109.1	111.2	95.4	109.2	100.5	102.6

11. 熊本市全世帯1か月の平均支出

年次	支出												現物総額
	総額	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履き物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他		
平成9年	305,984	69,627	18,443	20,303	10,954	18,985	10,201	30,628	11,483	26,176	89,184	13,030	
10年	316,444	69,475	22,315	21,145	10,807	17,641	12,204	28,827	12,898	27,485	93,646	10,703	
11年	318,900	70,161	21,667	21,019	10,824	17,122	11,077	30,784	13,263	29,338	93,645	10,597	

12. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況 (各年5月1日現在)

年次	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		短期大学		大学 (大学院・専攻科を含む)		専修・各種学校	
	園数	園児数	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
平成10年	57	10,206	82	42,994	45	25,157	28	30,555	3	1,762	7	31,293	42	13,232
11年	57	10,114	82	42,260	45	24,269	28	30,665	3	1,700	7	30,718	42	9,928
12年	57	10,064	82	41,748	45	23,631	28	30,752	3	1,488	7	30,161	42	9,818

13. 道路状況 (各年度末現在)

年度	国				県				市			
	延長		面積		延長		面積		延長		面積	
	総延長	舗装延長	総面積	舗装面積	総延長	舗装延長	総面積	舗装面積	総延長	舗装延長	総面積	舗装面積
平成9年度	64,127	63,980	1,488,912	...	237,779	236,936	3,203,212	...	2,337,693	2,046,202	11,852,656	...
10年度	67,364	67,364	1,657,101	...	242,568	242,122	3,380,745	...	2,347,482	2,064,204	11,954,671	...
11年度	72,308	72,308	1,675,409	...	242,581	247,166	3,606,714	...	2,368,785	2,093,347	12,159,923	...

(注) 総面積については、道路敷面積。舗装道、砂利道については車道部分の面積。

14. 市内公園及び面積 (平成11年度末現在)

公園別 区分	面積ha										
	総数	街区公園	近隣公園	地区公園	総合公園	運動公園	広域公園	特殊公園	墓地	都市緑地	まちの広場・その他
公園数	792	593	25	5	1	3	1	14	3	44	103
面積	551.44	73.09	34.83	23.09	53.57	115.03	113.46	33.84	17.80	75.23	11.50

15. 下水道状況 (各年度末現在)

年度	処理区域面積 (ha)	排水区域内人口 (A)	普及率 (%) A/行政人口	処理下水量 (m³)	下水道使用料 調定件数	水洗便所取付戸数
平成9年度	7,670	468,450	73.0	75,150,000	1,854,313	139,801
10年度	7,848	477,240	74.0	74,934,000	1,964,062	143,160
11年度	8,040	485,510	75.0	74,781,575	2,027,458	146,830

16. 医療施設 (各年9月末現在)

年次	病院										一般診療所・歯科診療所			
	施設数				病床数						一般診療所		歯科診療所	
	総数	精神病院	一般病院	(開) (閉) (療養) (特別) (在宅)	総数	精神	感染症	結核	一般	(再掲)療養型病床群	施設数	病床数	施設数	病床数
平成9年	95	15	80	7	14,953	2,815	40	32	12,066	607	550	3,568	303	22
10年	95	15	80	12	14,965	2,815	40	32	12,078	1,018	554	3,453	313	20
11年	93	15	78	27	14,757	2,815	40	32	11,870	3,118	581	3,355	316	20

(注) 平成7年の「一般病院」・「一般」に「らい療養所」、「らい病棟」を含めた。休止中の施設を除く。

17. ごみ・し尿収集処理状況

年度	ごみ					し尿			
	収集総量	処理内容				収集総量	処理場別処理内容		
		総数	焼却	埋立	再資源化		総量	秋津浄化センター	中部浄化センター
平成9年度	337,507	337,507	286,529	34,000	16,978	103,100	103,100	56,470	46,630
10年度	327,754	327,754	270,933	26,191	30,630	99,823	99,823	53,496	46,327
11年度	344,817	344,817	279,622	35,272	29,923	91,456	91,456	47,596	43,860

18. 市民病院利用状況

年度	医療従事者数			病床数	入院患者数				外来患者延数
	医師	薬剤師	看護婦		在院延数	入院数	退院数	年度末現在数	
平成9年度	76	14	363	580	209,292	9,425	9,428	522	323,958
10年度	77	14	358	580	201,745	9,503	9,527	498	305,059
11年度	78	14	356	564	192,245	9,878	9,913	455	303,586

19. 市立産院利用状況

年度	医師	薬剤師	看護婦	病床数	入院・外来件数			分娩数
					計	入院件数	外来件数	
平成9年度	3	1	30	38	24,214	9,594	14,620	429
10年度	3	1	28	38	24,413	10,026	14,387	486
11年度	3	1	29	38	21,654	8,741	12,497	416

20. 熊本市の主要死因別死亡者数

年度	脳血管疾患	悪性新生物	心臓疾患	肺炎	不慮の事故及び有害作用	全結核	高血圧性疾患	自殺
平成9年	482	1,308	636	398	161	13	25	91
10年	293	760	354	195	80	6	16	95
11年	507	1,299	610	377	137	8	28	139

21. 生活保護状況 (月平均)

年度	被保護実世帯							被保護実人員						
	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助
平成9年度	4,679	4,424	461	5,183	1	3	15	7,109	6,524	732	6,499	1	3	15
10年度	4,826	4,574	471	5,387	1	3	12	7,331	6,734	746	6,770	1	3	12
11年度	5,033	4,640	485	5,601	1	2	12	7,592	6,779	784	7,045	1	2	12

22. 国民年金 (各年度末現在)

単位：人、千円

年度	被保険者数				免除者数	保険料 収納済額	受給権者数			年金 支給額
	総数	強制加入	任意加入	第3号			総数	拠出	福祉	
平成9年度	164,505	99,725	2,105	62,675	23,462	8,247,396	76,032	70,001	6,031	41,298,807
10年度	169,359	105,475	1,950	61,934	26,847	8,402,382	81,083	75,241	5,842	46,289,510
11年度	172,572	109,254	1,858	61,460	30,277	8,408,382	85,559	79,922	5,637	50,185,516

23. 国民健康保険給付状況

単位：千円

年度	被保険者数		保険料		給付額					
	世帯数	人員	調定額	収入額	総計	療養給付	療養費	出産給付	葬祭給付	高額療養費
平成9年度	97,335	196,213	20,249,787	14,841,244	25,602,864	22,642,315	155,024	284,400	51,220	2,469,905
10年度	101,447	202,266	21,113,209	15,146,983	26,903,358	23,671,727	175,635	337,170	55,860	2,662,966
11年度	106,240	209,519	22,144,982	16,100,903	28,807,807	24,446,209	182,495	311,700	58,180	2,809,223

24. 老人福祉状況 (各年度末現在)

年度	高齢者数	施設措置人員	老人ホームヘルパー数	老人クラブ会員数	老人センター利用者数(1日平均)	老人想いの家数
平成9年度	97,581	1,457	1,448	32,702	836	132
10年度	101,358	1,548	1,259	31,930	859	133
11年度	105,115	1,557	1,374	31,345	839	133

25. 保育所の概要 (各年4月1日現在)

年次	保育所数			職員数			入所者数		
	計	市立	私立	計	市立	私立	計	市立	私立
平成9年	129	22	107	1,710	235	1,472	10,448	1,712	8,748
10年	127	21	106	1,719	236	1,483	10,485	1,672	8,813
11年	128	21	107	1,875	240	1,635	10,883	1,678	9,205

26. JR市内駅乗客数状況 (平成11年度)

単位：人

駅名	乗車人員		
	総数	定期	定期外
総数	9,096,422	4,770,698	4,325,724
西里	38,685	28,852	9,833
熊本工大前	293,152	255,342	37,810
上熊本	914,243	616,135	298,108
熊本	4,344,433	1,578,831	2,765,602
川尻	464,071	346,733	117,338
平成	189,991	78,223	111,768
南熊本	228,629	120,704	107,925
新水前寺	750,721	535,137	215,584
水前寺	616,342	385,182	231,160
東海学園前	314,241	188,807	125,434
竜田口	172,791	107,290	65,501
武蔵塚	769,123	529,462	239,661

27. 市内自動車登録台数

年度	総数	乗用車	貨物車	バス	特殊用途車	大型特殊車	軽自動車
平成9年度	360,017	220,547	43,648	1,214	5,397	881	88,330
10年度	364,587	224,919	42,070	1,190	5,773	895	89,740
11年度	367,103	226,152	41,359	1,191	6,262	903	91,236

28. 市営電車・市営バス利用状況 (各年度末現在)

単位：千人

年度	市営電車営業路線・乗客数				市営バス営業路線・乗客数			
	営業路線(km)	総数	定期	定期外	営業路線(km)	総数	定期	定期外
平成9年度	12.1	10,699	1,409	9,290	177.5	18,779	2,379	16,400*
10年度	12.1	10,759	1,274	9,485	177.4	18,677	2,178	16,499*
11年度	12.1	10,868	1,174	9,694	187.4	17,555	1,861	15,694*

(注) *は貸切を含む。

29. タクシー及びハイヤーの登録台数 (各年度末現在)

年度	登録台数				営 業 体 数			
	総 数	大 型 車	中 型 車	小 型 車	総 数	法 人	個 人	人
平成9年度	2,541	20	63	2,458	537	56	481	
10年度	2,534	20	58	2,456	535	56	479	
11年度	2,518	20	54	2,444	528	56	472	

30. 電話の概況 (各年度末現在)

年度	電 話 利 用 台 数					
	総 数	加 入 電 話		公 衆 電 話		
		事 務 用	住 宅 用	カ ー ド 公 衆 (再 掲)		
平成9年度	396,063	112,192	278,920	4,951	4,951	
10年度	383,751	103,575	275,282	4,894	4,894	
11年度	302,304	80,563	217,776	3,965	3,965	

31. 郵便物取扱状況

単位：1,000通

年度	引 受 通 常 郵 便 物 数 (県 内)						引 受 小 包 郵 便 物 数 (県 内)					
	総 数	普 通 通 常	書 留 と し な い 速 達 等	書 留			総 数	普 通	書 留 と し な い 速 達 等	書 留		
				計	一 般	簡 易				計	一 般	簡 易
平成9年度	199,756	194,011	2,123	3,622	4,559	4,369	113	77
10年度	196,136	189,602	2,631	3,903	4,407	4,233	113	61
11年度	194,101	187,371	2,594	4,136	5,075	4,853	169	53

32. 電灯・電力需要状況

単位：1,000Kwh

分 類	電 灯 需 要			分 類	電 力 需 要		
	平 成 9 年 度	10 年 度	11 年 度		平 成 9 年 度	10 年 度	11 年 度
総 計	1,377,801	1,467,109	1,488,201	総 計	2,628,244	2,732,730	2,675,295
定 額 電 灯	26,141	26,861	27,635	業 務 用 電 力	1,027,336	1,109,414	1,111,294
従 量 電 灯 A B	1,122,096	1,191,196	1,187,242	小 口 電 力	507,364	530,609	520,838
従 量 電 灯 C	225,093	245,094	269,429	大 口 電 力	989,905	994,278	949,800
そ の 他	4,471	3,962	3,895	そ の 他	103,639	98,429	93,363

33. ガス需要状況

単位：1,000m³

年度	総 数		家 庭 用		商 業 用		工 業 用		そ の 他	
	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量
平成9年度	111,451	129,897	102,039	65,704	7,691	33,990	124	2,670	1,597	27,533
10年度	113,066	54,183	103,840	26,351	7,502	13,836	126	1,199	1,598	12,797
11年度	113,803	55,579	104,353	27,680	7,619	13,783	134	1,137	1,697	12,980

注)平成10年度より消費量の計算方法に変更があったため、平成9年度までの数値とは整合しない。

34. 上水道給水状況

単位：1,000m³

年度	給 水 戸 数	給 水 人 口	配 水 量			有 収 水 量	有 収 率	
			総 量	1 日 平 均	1 日 最 大			1 日 最 少
平成9年度	248,252	634,333	89,354	245	279	182	78,153	87.4
10年度	252,670	638,049	88,721	243	276	187	78,310	88.3
11年度	255,250	640,748	87,813	241	285	181	77,297	88.0

35. 交通事故の状況

年 次	総 数			熊 本 北 署			熊 本 南 署			熊 本 東 署		
	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者
平成9年	4,954	35	6,005	1,815	9	2,199	1,306	16	1,578	1,833	10	2,228
10年	5,026	27	6,198	1,815	11	2,218	1,510	10	1,887	1,701	6	2,093
11年	5,328	39	6,510	1,885	11	2,289	1,626	16	1,977	1,817	12	2,244

36. 刑法犯罪認知件数

年度	総 数	凶 悪 犯	窃 盗	粗 暴 犯	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
平成9年	9,940	44	8,623	196	303	37	737
10年	10,207	37	8,836	252	219	34	829
11年	9,605	43	8,393	256	248	28	637

37. 火災の原因別件数

区分	合 計	た ば こ	た き 火	火 遊 び	こ ん ろ		放 火 (疑 合)	風 呂 か ま ど	ス ト ー プ	マ ッ チ ラ イ タ ー	煙 突 道	電 灯 電 話 配 線	電 気 機 器	焼 却 火	不 明	そ の 他
					こ ん ろ	天 ぶ ら 油										
平成9年	245	17	-	7	8	43	77	3	10	2	-	9	5	12	16	36
10年	290	27	-	17	7	54	78	6	6	4	2	10	23	15	11	30
11年	255	30	21	17	5	39	57	2	10	3	-	6	7	-	13	45

38. 救急活動状況 (平成11年)

区 分	合 計	事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
出場件数	19,434	226	48	22	3,344	144	179	2,217	195	332	10,468	2,259
搬送人員	17,880	26	43	7	3,440	135	197	2,050	189	226	9,602	1,965

■市内の主な官公庁

官公庁名	所在地	電話番号	官公庁名	所在地	電話番号	官公庁名	所在地	電話番号
市 関 係			産 業 文 化 会 館	花畑町7-10	325-2311	第 八 師 団 司 令 部	八景水谷2丁目17-1	343-3141
熊 本 市 役 所	手取本町1-1	328-2111	中 央 公 民 館	草葉町5-1	353-0151	福 岡 防 衛 施 設 局 熊 本 支 局	東町1丁目1-1	368-2171
北 部 総 合 支 所	鹿子木町66	245-2111	希 望 荘	大江5丁目1-15	371-5533	熊 本 行 政 監 察 事 務 所	二の丸1-4	324-1662
河 内 総 合 支 所	河内町船津2069-5	276-1111	図 書 館	大江6丁目1-74	363-4522	熊 本 地 方 法 務 局	大江3丁目1-53	364-2145
鮑 田 総 合 支 所	浜口町104	227-1111	子 ども 文 化 会 館	新町1丁目3-11	323-0505	熊 本 地 方 検 察 庁	京町1丁目12-11	323-9030
天 明 総 合 支 所	奥古閑町2035	223-1111	総 合 体 育 館 ・ 青 年 会 館	出水2丁目7-1	385-1010	熊 本 刑 務 所	渡鹿7丁目12-1	364-3165
南 部 市 民 セ ン タ ー	南高江町175-1	358-1205	交 通 局	大江5丁目1-40	361-5211	熊 本 少 年 鑑 別 所	池田1丁目9-27	325-4131
幸 田 市 民 セ ン タ ー	御幸苗田町490-1	378-0172	水 道 局	水前寺6丁目2-45	361-5448	熊 本 保 護 観 察 所	大江3丁目1-53	366-8080
秋 津 市 民 セ ン タ ー	秋津3丁目15-1	368-2205	勤 労 青 少 年 ホ ー ム	新屋敷1丁目18-28	364-0633	熊 本 公 安 調 査 事 務 所	〃	363-1100
龍 田 市 民 セ ン タ ー	龍田町弓削1192	338-2231	勤 労 婦 人 セ ン タ ー	本山2丁目9-51	322-5888	九 州 農 政 局	二の丸1-2	353-3561
西 部 市 民 セ ン タ ー	小島上町32-1	329-7205	五 福 地 域 開 発 セ ン タ ー	細工町2丁目25	359-0300	熊 本 営 林 局	京町本丁2-7	328-3500
託 麻 市 民 セ ン タ ー	長嶺東7丁目11-15	380-3111	健 軍 文 化 ホ ー ル	若葉3丁目5-11	368-1221	森 林 総 合 研 究 所 九 州 支 所	黒髪4丁目11-16	343-3168
東 部 市 民 セ ン タ ー	錦ヶ丘1-1	367-1411	く ま も と 工 芸 会 館	川尻町102-1	358-5711	熊 本 食 糧 事 務 所	八王寺町1-20	378-3171
清 水 市 民 セ ン タ ー	清水亀井町14-7	343-9161	金 峰 山 少 年 自 然 の 家	池上町字西平山	277-2124	熊 本 陸 運 支 局	東町4丁目14-35	369-3188
大 江 市 民 セ ン タ ー	大江6丁目1-85	372-0311	東 部 環 境 工 場	戸島正玄塚	380-8211	熊 本 地 方 気 象 台	京町2丁目12-20	352-7740
花 園 市 民 セ ン タ ー	花園5丁目8-3	359-1122	西 部 環 境 工 場	城山薬師町363	329-0900	九 州 郵 政 局	城東町1-1	328-5134
総 合 女 性 セ ン タ ー	黒髪3丁目3-10	345-2550	県 関 係			九 州 郵 政 監 察 局	〃	328-5420
明 生 園	花園7丁目19-1	325-1350	熊 本 県 庁	水前寺6丁目18-1	383-1111	九 州 電 気 通 信 監 理 局	二の丸1-4	326-7806
隣 保 館	本荘4丁目6-6	366-7310	熊 本 事 務 所	南千反畑町4-33	352-4111	熊 本 労 働 基 準 局	二の丸1-2	355-3181
市 立 産 院	本山3丁目5-11	325-3259	熊 本 労 働 基 準 監 督 署	〃	352-4111	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	大江3丁目1-53	362-7100
熊 本 市 保 健 所	九品寺1丁目13-16	364-3185	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	九 州 地 方 建 設 局 熊 本 工 事 事 務 所	大江6丁目1-38	371-8609
中 央 保 健 福 祉 セ ン タ ー	九品寺1丁目13-16	364-3113	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	九 州 地 方 建 設 局 熊 本 工 事 事 務 所	西原1丁目12-1	382-1111
西 保 健 福 祉 セ ン タ ー	新町2丁目4-27	354-1201	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 地 方 裁 判 所	京町1丁目13-11	325-2121
東 保 健 福 祉 セ ン タ ー	錦ヶ丘1-1	356-3000	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 地 方 裁 判 所	千葉城町3-31	355-6121
北 保 健 福 祉 セ ン タ ー	清水本町16-10	345-2175	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 家 庭 裁 判 所	二の丸1-5	353-6501
南 保 健 福 祉 セ ン タ ー	平成1丁目10-8	355-4111	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	国 立 熊 本 病 院	二の丸1-5	353-6501
動 物 管 理 セ ン タ ー	小山町45	380-2153	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	春日3丁目15-1	352-0818
環 境 総 合 研 究 所	画図町所島404-1	379-2511	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	千葉城町1-21	356-3111
市 民 病 院	湖東1丁目1-60	365-1711	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	桜町3-1	321-2031
食 肉 セ ン タ ー	南熊本2丁目3-1	371-6411	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	山崎町15	359-9514
熊 本 城 総 合 事 務 所	本丸1-1	352-5984	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	安政町4-22	353-6121
競 輪 場	水前寺5丁目23-1	384-0203	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	水前寺2丁目16-11	387-2000
博 物 館	古京町3-2	324-3500	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	手取本町2-5	352-9155
水 前 寺 競 技 場	水前寺5丁目23-3	381-9323	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	南千反畑町2-6	353-3104
動 植 物 園	健軍5丁目14-2	368-4416	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	城東町2-23	352-6184
消 防 局	大江3丁目1-3	363-7171	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	水道町5-15	353-1191
中 央 消 防 署	〃	364-7520	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	千葉城町2-7	353-2151
西 消 防 署	米屋町1丁目12-1	353-2769	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	横紺屋町10	354-6688
健 軍 消 防 署	東町4丁目6-17	365-0311	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	世安町172	361-3111
市 民 会 館	桜町1-3	355-5235	熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	上水前寺1-6-36	387-3111
			熊 本 公 共 職 業 安 定 所	〃	352-4111	熊 本 東 社 会 保 険 事 務 所	春日2丁目4-30	355-1241

熊本市民 愛市憲章

—品位ある市民の誇りのために—

- 1 私たち熊本市民は、清潔で住みよい街をつくりましょう。
- 1 私たち熊本市民は、郷土の自然や文化財を大切にいたしましょう。
- 1 私たち熊本市民は、時間を正しく守りましょう。
- 1 私たち熊本市民は、交通道徳を重んじましょう。
- 1 私たち熊本市民は、互いにあたかく交わり、旅行者を親切に迎えましょう。

(昭和35年5月11日制定)

都市宣言

「森の都」都市宣言に関する決議

自然環境の回復による生活環境の保全是、今や人類共通の課題となっている。由来、わが熊本市は、豊かな緑、清冽な水に恵まれた自然の下、今日の発展を遂げてきたが、急激な都市化の波に、今や昔日の面影は一変しようとしている。ここにおいてわれわれは、市民の総力を結集して緑と水の保全・回復につとめ、もって人間優先の快適な都市環境づくりに邁進せんことを誓い、わが熊本市を「森の都」とすることを宣言する。

昭和47年10月2日

熊本市議会

地下水保全都市宣言に関する決議

限りある地球の資源の保全是、自然環境の回復と共に人類共通の課題であり、水資源についてもその例外ではない。古来、わが熊本市は豊かな緑と清冽な地下水に恵まれた自然の下生々発展を遂げて来たが、今日における無秩序な地下水の開発と自然環境の破壊は、今や地下水の汚染をはじめその枯渇さえ憂慮される状態にある。

よって、本議会は市民の総意を結集して自然環境の回復、保全をはかり、貴重な水資源を後世まで守り伝えていくことを誓い、ここにわが熊本市を地下水保全都市とすることを宣言する。

昭和51年3月22日

熊本市議会

健康都市宣言

熊本市は、緑と水に恵まれた豊かな自然と先人が築いた伝統と文化を擁し、地方における近代的な中枢都市として発展しつつある。しかし、都市化の進展に伴い市民生活を支える基本である心身の健康を阻害する要因が増大している。

熊本市は、市民とともに明るく健康な都市をめざして諸施策を結集し、その実現につとめなければならない。

ここに、すべての市民の健康を市政の目標として、熊本市を「健康都市」とすることを宣言する。

昭和54年10月1日

熊本市

平和都市宣言

熊本市は、先の大戦において、多くの尊い人命を失うとともに、市街地のほとんどを焼失するなど、大きな災禍を被った。

戦後、焦土の中から立ち上がった市民の英知とたゆまぬ努力によって、緑と水の豊かな自然環境や先人の築いた歴史と文化に支えられながら、今や九州中央の中枢都市として着実に発展を続けている。

私たち熊本市民は、戦後50周年の大きな節目にあたり、先の大戦への深い反省に立ち、未来に向けて平和で豊かな社会を築き、かけがえのない自然環境を次代に引き継ぐため、再び戦争の惨禍を繰り返さないことを誓うとともに、人類共通の願いである世界の恒久平和の達成を希求し、ここに「平和都市」を宣言する。

平成7年7月27日

熊本市

環境都市宣言

私たちのふるさと熊本市は、大阿蘇の大地を源とする地下水と緑に恵まれ、この豊かな自然の中で重厚な文化をはぐくみ、「森の都」と呼ばれる美しい近代都市として発展してきました。

しかし、近年、都市化の進展と生活様式の多様化などにより、自然の仕組みが損なわれ、恵みの地下水も将来が危ぶまれています。

いまこそ私たちは、大気と水と大地で成り立つ地球の自然が、人類だけではなく、生命あるものすべてにとつて、かけがえのないものであることをあらためて思い起こし、その保全のために、自然界の生態系に学んだ循環型社会へと、転換を図っていかねばなりません。

私たちは、美しく豊かなこのふるさとの環境を守り育て、これを次の世代に引き継いでいくことを誓い、ここに熊本市を「環境保全都市」とすることを宣言します。

平成7年9月25日

熊本市

スポーツ都市宣言に関する決議

全ての市民が生涯にわたり活力に満ちた健康的な生活を営むことは、まちづくりの基本である。

スポーツの振興は、市民生活の根幹となる心身の健康の保持に欠かせないものであるが、加えて、青少年の健全育成、生き甲斐づくり、地域との交流、自然とのふれあいといった多くの観点からも積極的に推進していく必要がある。

よって、本議会は、21世紀に向け3つのスローガンを掲げ、全ての熊本市民がスポーツを通して健康的でいきいきと生活できる都市を目指すことを誓い、ここに我が熊本市を「スポーツ都市」とすることを宣言する。

- 1 スポーツを通じて健やかなこころと体を創ろう。
- 1 スポーツを通じて人と自然にふれあおう。
- 1 スポーツを通じていきいきとしたまちを創ろう。

平成11年8月27日

熊本市議会

あとがき

この市勢要覧は、本市の概要を御理解いただくため編集いたしました。既刊の市勢要覧より内容を充実したものを目指しましたが、不十分なところも多く、今後、よりよいものとしていきたいと存じますので御利用いただいた方々の御意見をいただければ幸に存じます。

なお、編集にあたりましては、多くの方々から貴重な資料や写真の提供など御協力いただきました御厚意に対し、厚く御礼申し上げます。

平成12年度 熊本市勢要覧

印刷発行／平成13年3月

編集発行／熊本市企画調整局
情報企画部統計課
熊本市手取本町1番1号
TEL 096-328-2111

印刷所／コロニー印刷
熊本市二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291

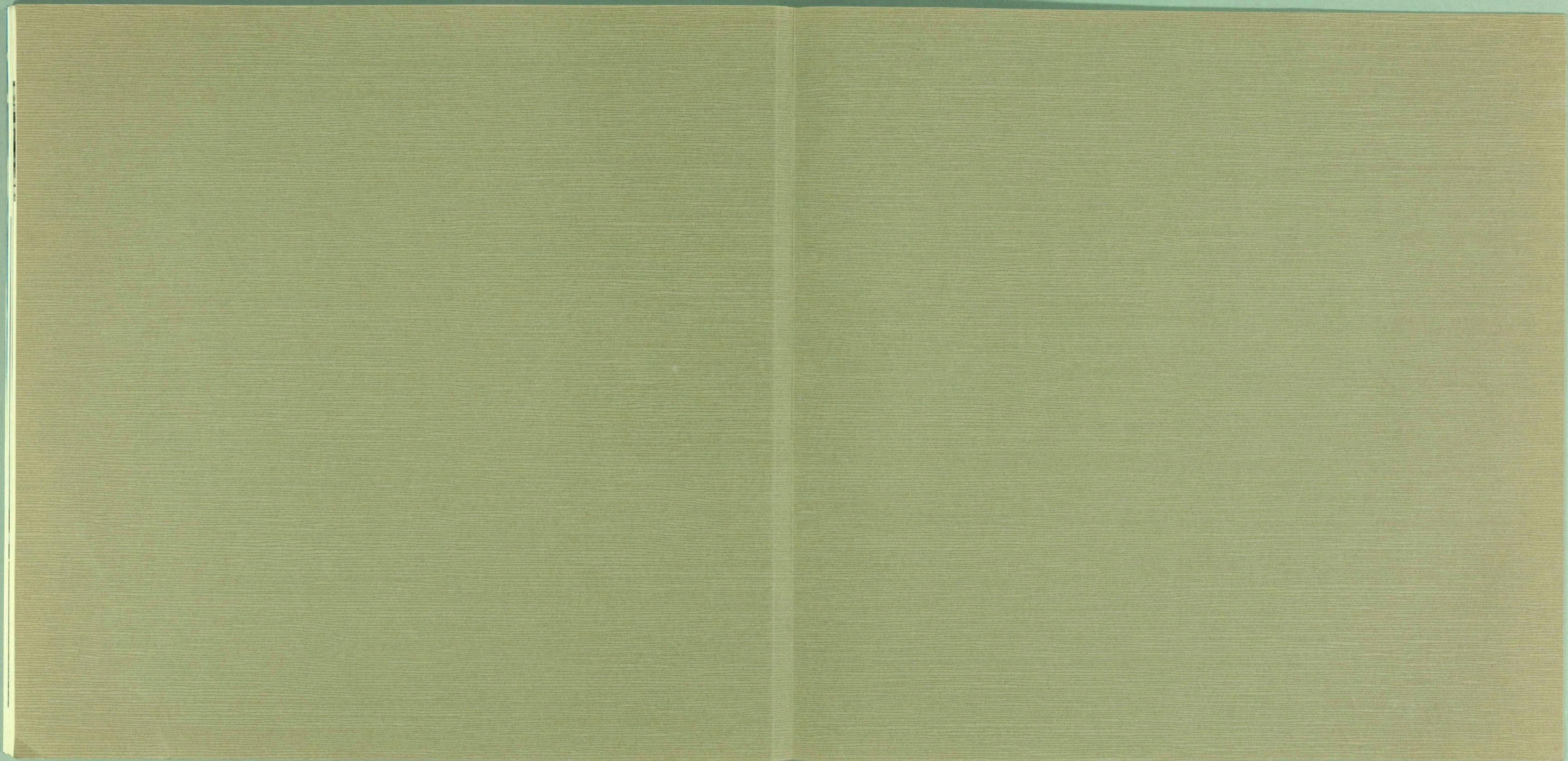
光るグリーンシティ

作詞 藤本征男
補作・作曲 イルカ

1. 白い長髪 お堀にゆれて
楠の若葉に 小鳥が歌う
心そよがす 春風のように
かがやく明るい 日差しのように
グリーンシティー 広い 父の背中に似て
グリーンシティー あつい 母の胸のように
その大きな あなたが まぶしくて……
愛しています……くまもと
2. 清らかな水に 花びら浮かべ
二人の愛を うつす水前寺
君をつつんで 生きてゆくよと
見上げる青空 あの雲のように
グリーンシティー 広い 父の背中に似て
グリーンシティー あつい 母の胸のように
その大きな あなたが まぶしくて……
愛しています……くまもと
3. 阿蘇にとぼりが 静かにおりて
夕日に燃える 有明の海
明日を夢みて 希望をだいて
家路をたどる あの鳥のように
グリーンシティー 広い 父の背中に似て
グリーンシティー あつい 母の胸のように
その大きな あなたが まぶしくて……
愛しています……くまもと

くまもとマイソング「光るグリーンシティ」は、熊本市制100周年を記念して制作しました。全国から寄せられた多くの応募作品の中から選ばれた熊本市八幡町の藤本征男さんの歌詞に、イルカさんに作曲していただきました。

今後、人間味あふれる街づくりの中で、熊本市をイメージする新しい歌として、広く市民の皆さんに親しまれ、また、機会あるごとに歌って頂ければ幸に存じます。





しあわせ実感くまもと